

■ SDGs の目標も意識し、大人数で河川の美化を目指す ■

関大生ら 500 人が大和川を大掃除

【日 時】 2月16日(日)10:00~12:00 【場 所】 大和川河川公園 河川敷(関西大堺キャンパス集合)

このたび関西大学では、学生ら 500 人による大規模清掃ボランティアとして、奈良・大阪を流れる大和川の大掃除を2月16日(日)10:00から実施します。

本件の ポイント

- ・今年で3年目を迎える、関大生ら総勢約500人による大和川の大規模清掃ボランティア活動
- ・ミズノ株式会社とも連携し、大勢の人と交流しながら楽しくゴミを拾う
- ・SDGs や海洋プラスチック問題など、環境問題や社会情勢を意識しながら、学生自らが企画・運営

■ 活動3年目を迎える大和川大掃除

昨年の G20 大阪サミットの主要議題に挙げられたプラスチックごみ問題。なかでも海洋プラスチックごみの問題が大きな話題となりました。海につながる川の美化は、言うまでもなく課題解決の方法の1つです。

本学では 2007 年度から淀川河川敷を清掃フィールドとして活動してきましたが、同河川敷のごみが大人数で掃除する必要ないほどまでに減少したこともあり、2017 年から活動の場を本学堺キャンパスに隣接する大和川に移し、河川の美化に取り組んでいます。



< 昨年の大掃除では 160 袋分のゴミを回収した >

■ ボランティア学生の意識に、SDGs の概念がしっかりと根付き始めた

本学では、2018 年 12 月に学長の下に KANDAI for SDGs 推進プロジェクトを設置。そして 2019 年 11 月には「SDGs に関する関西大学の行動指針」を策定し、全学を挙げて SDGs 達成に向けた取り組みを推進していく環境を整えました。ボランティア活動も SDGs 達成には欠かせない取り組みです。

本学のボランティア活動の多くは、ボランティアセンター学生スタッフが自ら考え企画することに始まります。従来は「社会のニーズは？」「どうすれば誰かの力になれるだろう？」、そんな想いが企画の芽となっていましたが、最近はそれに加えて「SDGs の●番の目標を達成するために何が出来るだろう？」というように、SDGs の概念から新たな企画を検討するケースも増えてきた、と同センター職員は話します。

■ 清掃活動の参加者は約 500 人！ミズノ株式会社とも連携

当日はボランティアセンター学生スタッフと体育会所属学生を中心に、学生・教職員ら総勢 500 人が、初対面の人も交流しながら楽しくゴミ拾いを行います。またミズノ株式会社とも協働して、産学連携で誰もが気持ちよく感じられる環境づくりを目指します。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

< 第 3 回 関大生ら 500 人による大和川大掃除ボランティア 概要 >

【日 時】 2月16日(日)10:00 ~ 12:00 <集合時間> 9:40

【場 所】 大和川公園河川敷 ※集合は関西大学堺キャンパス西門(南海電鉄高野線「浅香山」駅すぐ)

【参加人数】 500 人(本学学生および教職員、ミズノ株式会社社員)

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp